

「長良川鵜飼」装束をプロデュース①

目的：長良川鵜飼の装束の特徴・機能性・歴史について学び、今後の作品製作にいかす。

場所：鵜飼ミュージアム（岐阜市長良 51 番地2） あすまや 四阿

講師：鵜匠 山下雅彦氏・岐阜大学 教授 夫馬佳代子先生

生徒：服飾デザイン科3年生 38人 名古屋モード学園 5人



鵜匠 山下 雅彦氏



装束の歴史を詳しく学びました



名古屋モード学園学生とコラボ



ミュージアムで長良川鵜飼の歴史や、鵜匠、鵜について興味深く学びました。



金華山と長良川の美しい景観に囲まれて、講義を受けました。

長良川鵜飼の鵜匠の装束は、何百年間改良され続け、洗練されたものと知り感動した。

鵜匠装束の形状や色、素材には、「仕事着」としての理由があり、とても魅力的でした。

「長良川鵜匠」装束に関する、今後の予定

7月7日（火）鵜匠装束の素材（三河木綿）の工場見学（蒲郡市：市川織布工場・藤浜染工株式会社）

7月21日（火）鵜匠装束の提案（デザイン決定・パターン作成）

7月22日（水）～8月終わり 鵜匠装束の製作